

4406A-002

RF CAPTURE (DATA RECORDER)



用途

本装置は外部からの高速データを取り込み保存すること、又、保存したデータを外部に高速再生することができる記録再生装置です。本装置は4406A-001 (AD/DAコンバータ) との組み合わせで使用します。さらに4222A-001 (アップコンバータ)、5212A (ダウンコンバータ) と組み合わせることにより、放送波の取り込み、再生が可能です。

特長

- ・本装置前面のコントロールパネルから、簡単にオペレーション可能です。本装置内部にはWindows2000 (※1) のOSで動くCPUボードが入っていますが、マウス、キーボード、モニタがなくても取り込み、再生の動作が可能です。
- ・本装置は高さ150mmのラックマウント筐体となっております。本体へのハードディスク固定方法は、本体動作中の振動、ショックに対して防振性の優れた構造(※2)となっております。
- ・記録用HDDは高速記録再生が可能であり43.049Mbyte/secでの記録再生が可能です。(記録用HDDは4台のHDDがストライピング構成により動作しています)
- ・データは最大120バンク分(約155Gbyte)取り込み可能です。1バンクは1,291,464,704Byteで、記録再生レート43.049Mbyte/secの場合、1バンクあたり約30秒の記録再生が可能です。記録再生の最小単位は1バンク単位となります。全てのバンク(120バンク)を使用して記録再生を行った場合の最大記録再生時間は約1時間となります。
- ・本装置前面、リムーバブルドライブ内のHDDにデータをコピーする事が可能です。リムーバブルHDDカートリッジは本装置より取り外し、他のコンピュータ(※3)に装着し、データ解析をする事も可能です。記録用HDDからリムーバブルHDDへのファイルコピーを行うと、リムーバブルHDD内に1バンク分(1,291,464,704Byte)のサイズのデータのファイルがn個作成されます。ファイル名の最後に分割されたファイルの何番目のファイルかを識別する番号がつきます。(例: 5番目のファイル名 "DATA_004.dat")
- ・本装置1台につき1台リムーバブルHDDカートリッジが付属します(本体に装着済み)。
- ・本装置にはギガビットイーサナーのコネクタがついており、ネットワークに接続することで、リムーバブルHDD内データのネットワーク転送又は、ネットワークドライブを割り当てることによりネットワーク上のバックアップドライブとして利用可能です。(ネットワークを使用する場合、キーボード、マウス、モニタを本装置に接続してオペレーションする必要があります。)
- ・100BASE-Tのポートも装備しており、同時に利用可能です。(デュアルLAN構成)

※1 Windows2000はマイクロソフト社の登録商標です。
 ※2 本体と、記録用HDDとの間の固定装置に耐震ドライブキットを用いております。
 ※3 Bigdrive対応のIDEドライブを読み書き可能なインターフェイスをコンピュータに取り付ける必要があります。また、本装置と同一のリムーバブルケース用のフレームが必要です。
 IDEインターフェイス: ロジテック社製 LHA-BIG133
 リムーバブルケースフレーム: オウルテック社製 OWL-MRS68D-UAE/133

構成

本体	1
寸法	425(W)×199(H)×530(D)mm (突起物を含まず)
質量	約15kg
付属品	電源ケーブル(3ピン→2ピン変換含む) 1 ラックマウントアダプタ 1式 取扱説明書・試験成績書 1部 80ピンハーピッチ接続ケーブル 1 キーボード 1 マウス 1 キー、マウス分岐ケーブル 1式

電源	リムーバブルHDDカードリッジ(本体マウント済み) 1 リムーバブルHDDロックキー 2個
使用環境	入力電圧許容範囲 AC90V~AC250V(50Hz/60Hz) 消費電力 約150VA 温度 +5℃~+40℃ 湿度 45%~85%RH (結露のないこと)

定格

入出力: IEEE802.3に準拠 1系統(※1)
 100/10BASE-Tx コネクタ: RJ-45型
 入出力: IEEE802.3に準拠 1系統(※1)
 VGAモニター端子 1系統(※1)
 スピーカーアウト 1系統(※1)
 キーボードポート 1系統(※1)
 デジタルデータ入出力インターフェイス (ハーピッチ80pin) 1系統
 コネクタ DX10BM-80S (ヒロセ)

※本装置の基本的なオペレーションでは使用しません。スピーカーアウトは使用できません。

・ハードウェア インターフェイス仕様

Gigabit Ethernet コネクタ: RJ-45型
 NS DP83820 (83821)/83861 Gigabit Controller使用

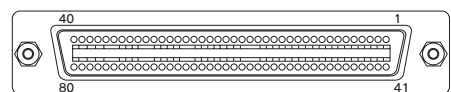
・デジタルデータ入出力インターフェイス端子仕様

入出力レベル: LVDS (TIA/EIA-644に適合)
 入出力データレート: 43.049Mbyte/sec

Pin	Name	I/O	Pin	Name	I/O
1	INCLK+	IN	1	INCLK-	IN
2	OUTCLK+	OUT	2	OUTCLK-	OUT
3	/P_INT+	IN	3	/P_INT-	IN
4	DIR+	OUT	4	DIR-	OUT
5	OUTRDY+	IN	5	OUTRDY-	IN
6	OUTVLD+	OUT	6	OUTVLD-	OUT
7	INRDY+	OUT	7	INRDY-	OUT
8	INVL+	IN	8	INVL-	IN
9	OUTDATA0+	OUT	9	OUTDATA0-	OUT
10	OUTDATA1+	OUT	10	OUTDATA1-	OUT
11	OUTDATA2+	OUT	11	OUTDATA2-	OUT
12	OUTDATA3+	OUT	12	OUTDATA3-	OUT
13	OUTDATA4+	OUT	13	OUTDATA4-	OUT
14	OUTDATA5+	OUT	14	OUTDATA5-	OUT
15	OUTDATA6+	OUT	15	OUTDATA6-	OUT
16	OUTDATA7+	OUT	16	OUTDATA7-	OUT
17	OUTDATA8+	OUT	17	OUTDATA8-	OUT
18	OUTDATA9+	OUT	18	OUTDATA9-	OUT
19	OUTDATA10+	OUT	19	OUTDATA10-	OUT
20	OUTDATA11+	OUT	20	OUTDATA11-	OUT
21	OUTDATA12+	OUT	21	OUTDATA12-	OUT
22	OUTDATA13+	OUT	22	OUTDATA13-	OUT
23	OUTDATA14+	OUT	23	OUTDATA14-	OUT
24	OUTDATA15+	OUT	24	OUTDATA15-	OUT
25	INDATA0+	IN	25	INDATA0-	IN
26	INDATA1+	IN	26	INDATA1-	IN
27	INDATA2+	IN	27	INDATA2-	IN
28	INDATA3+	IN	28	INDATA3-	IN
29	INDATA4+	IN	29	INDATA4-	IN
30	INDATA5+	IN	30	INDATA5-	IN
31	INDATA6+	IN	31	INDATA6-	IN
32	INDATA7+	IN	32	INDATA7-	IN
33	INDATA8+	IN	33	INDATA8-	IN
34	INDATA9+	IN	34	INDATA9-	IN
35	INDATA10+	IN	35	INDATA10-	IN
36	INDATA11+	IN	36	INDATA11-	IN
37	INDATA12+	IN	37	INDATA12-	IN
38	INDATA13+	IN	38	INDATA13-	IN
39	INDATA14+	IN	39	INDATA14-	IN
40	INDATA15+	IN	40	INDATA15-	IN

コネクタ: ヒロセ電機 DX10BM-80S
 対応プラグ: ヒロセ電機 DX10BM-80S

CN4



INCLK (入力)	: データ入力時のクロックです。
OUTCLK (出力)	: データ出力時のクロックです。(INCLKのレートにて出力)
/P_INT (入力)	: 割り込み端子です。この端子は使用しません。 HIGH (+側) 固定にて使用します。
DIR (出力)	: DATAの方向を示します。HIGHのとき出力。LOのとき入力です。 この端子は使用しません。
OUTRDY (入力)	: 出力レディ信号です。 何も接続しません。 (複数台での同期を取る為に内部で利用します。)
OUTVLD (出力)	: 出力FIFOのアンダーフローエラーを示します。 正常時HIGH、エラー時LOとなります。

アンダーフローの発生したWordのクロックで反映され、アンダーフローの発生している期間LOとなります。

INRDY (出力) : 入力FIFOのオーバーフローエラーを示します。

正常時HIGH、エラー時LOとなります。

オーバーフローの発生したWordのクロックで反映され、オーバーフローの発生している期間LOとなります。

INVL (入力) : 入力の有効を示す端子です。

何も接続しません。

(複数台での同期を取る為に内部で利用します。)

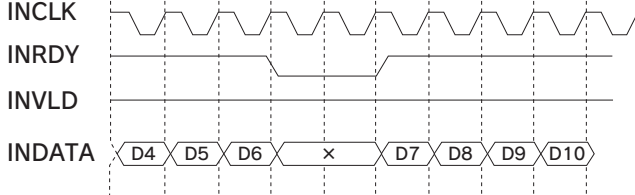
OUTDATA(出力) : 出力データの端子です。全16bit

INDATA (入力) : 入力データの端子です。全16bit

<タイミング例>

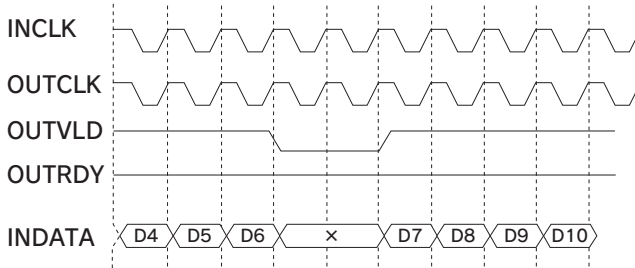
※/P_INT,OUTRDY,INVLはHIGHにて使用します。

※クロックの立ち上がりでデータを変化させます。



INCLKに同期したINDATAを入力します。

INRDYがLOになった場合、FIFOのアンダーフローエラーとなりXのデータは取り込まれません。通常LOになる事はありませんが、動作中断および転送レートが間に合わない等の障害が出たときに、LO



になります。

• 出力信号 (本装置->外部機器)

外部機器よりINCLKを供給し、そのレートにてOUTDATA、OUTCLKが出力されます。

OUTVLDがLOになった場合、FIFOのオーバーフローエラーとなりXのデータは取り込まれません。通常LOになる事はありませんが、動作中断および転送レートが間に合わない等の障害が出たときに、LOになります。

※ INCLKとOUTCLKの位相差は保証されません。